YONEI FARM

中山間地における
節水型乾田直播栽培の可能性

～農地を守り、未来を拓く挑戦～

目次

01 米井ファーム

02 節水型乾田直播

03 今後の取組

04 最後に

Table of Contents

YONEI FARM

米井ファーム

01

YONEI FARM

プロフィール

米井崇恭

Takayasu　Yonei

42歳　兼業農家の長男
元市役所職員
38歳で退職し米井ファームを起業

会社概要

会社名	米井ファーム株式会社
本社所在地	岡山県津山市下高倉東１１９７
代表者	代表取締役　米井崇恭
設立日	令和３年３月３１日
決算期	８月
売上高	６０,０００千円
資本金	１,６００万円
役員	代表取締役　米井崇恭
	取締役　他1名
事業内容	水稲・麦・豆類等の生産販売
経営規模	６０ha
従業員	１０名（役員・従業員・パート含）

経営理念

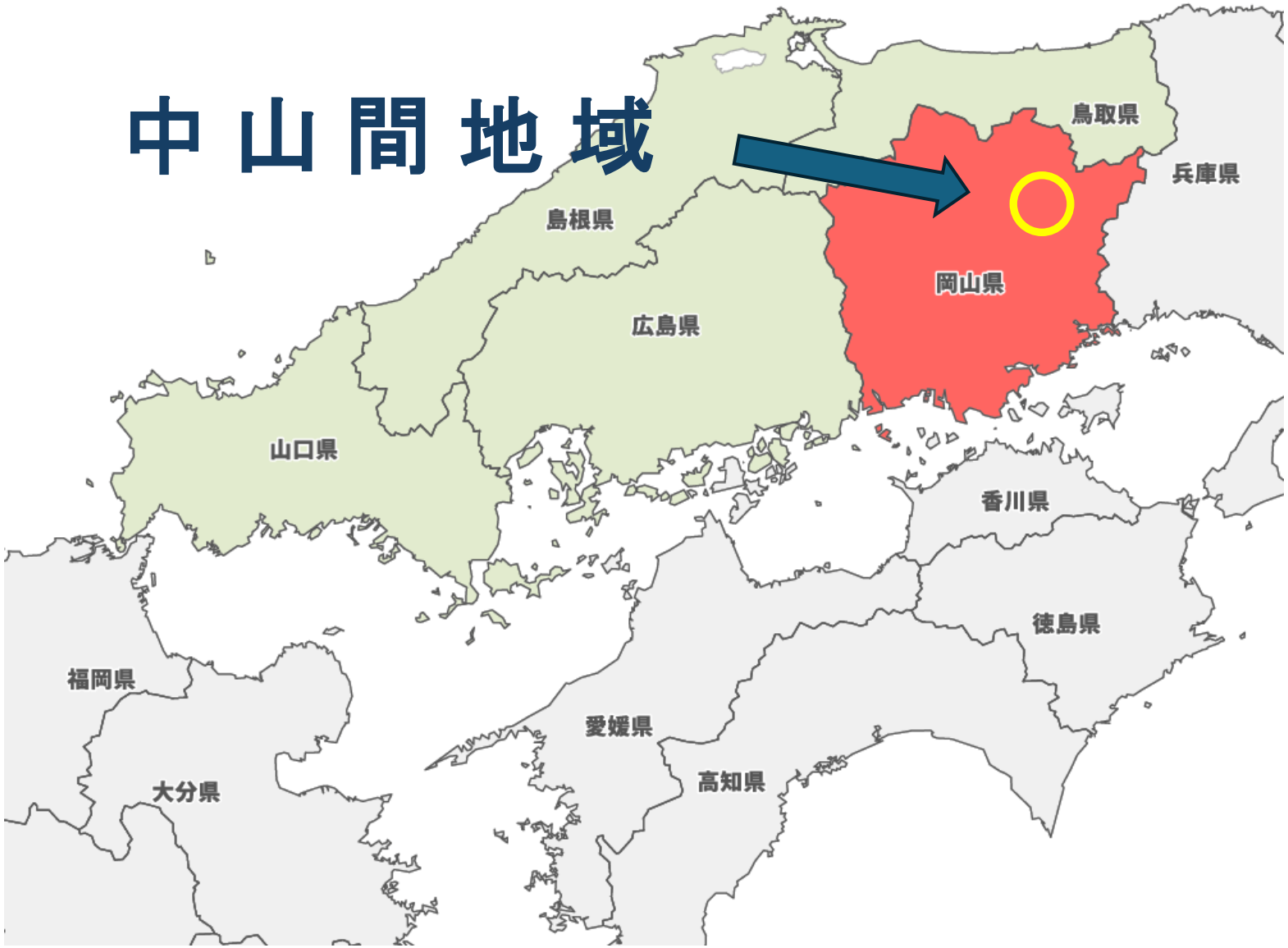
Coutinuity & Change

農業を通じて人と暮らし、文化を守り、
人と自然が共生できる社会の実現のため変化を続ける

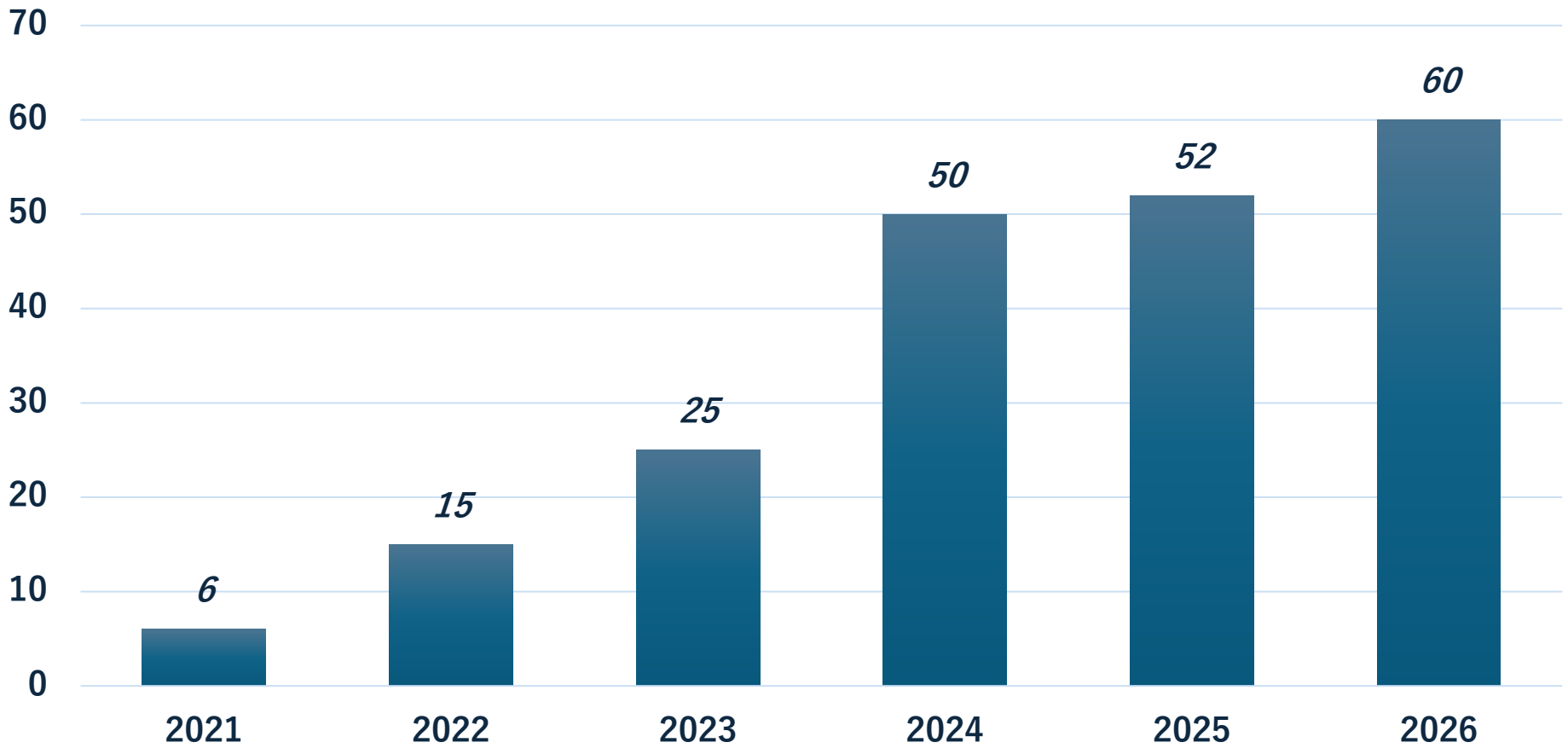
Our mission is to protect nature, people's livelihoods, and culture through agriculture. We are committed to continual change in order to create a society where people and nature can coexist harmoniously.

岡山県津山市

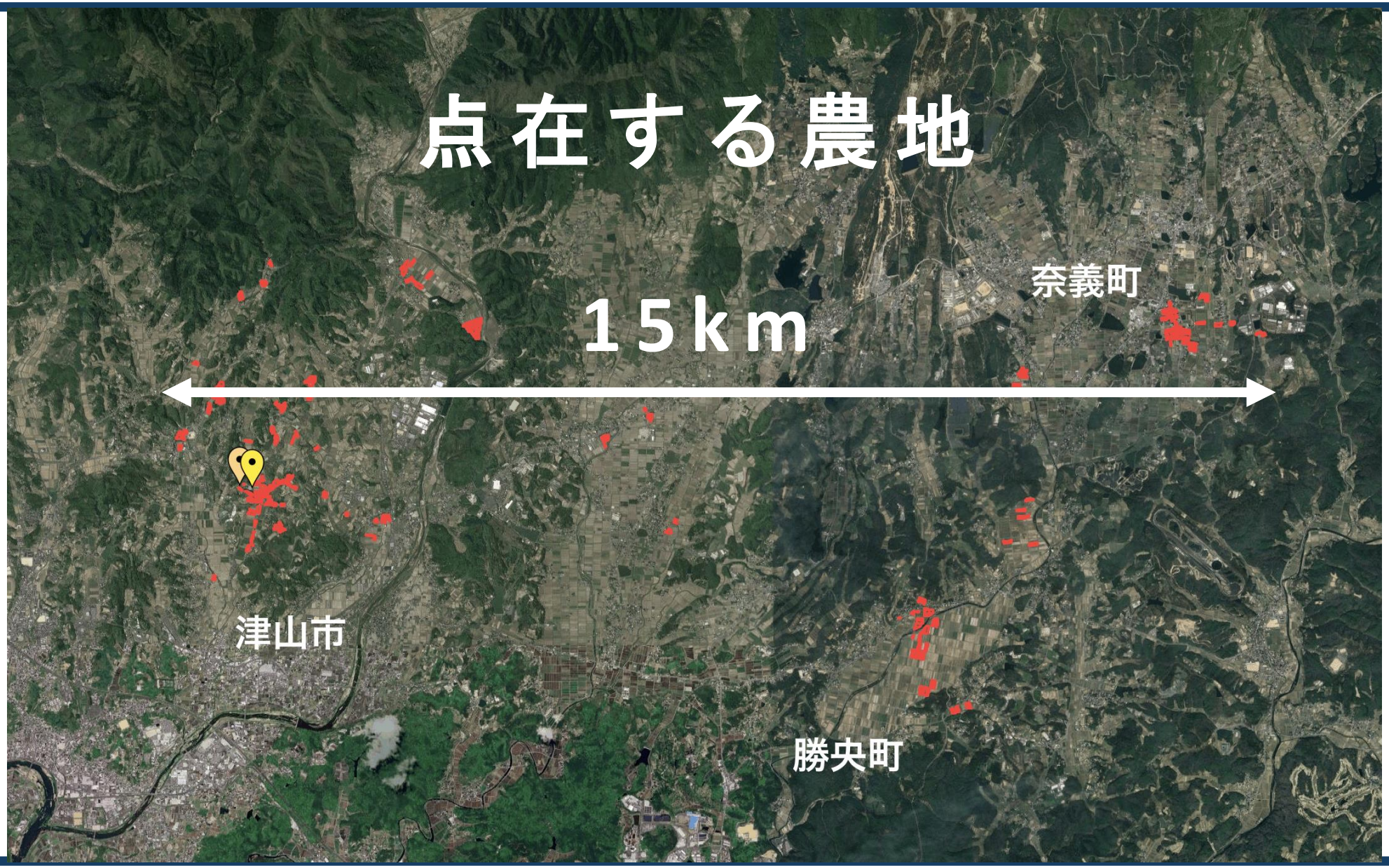
中山間地域



経営面積の推移(ha)


70
60
50
40
30
20
10
0
6
15
25
50
52
60
2021
2022
2023
2024
2025
2026

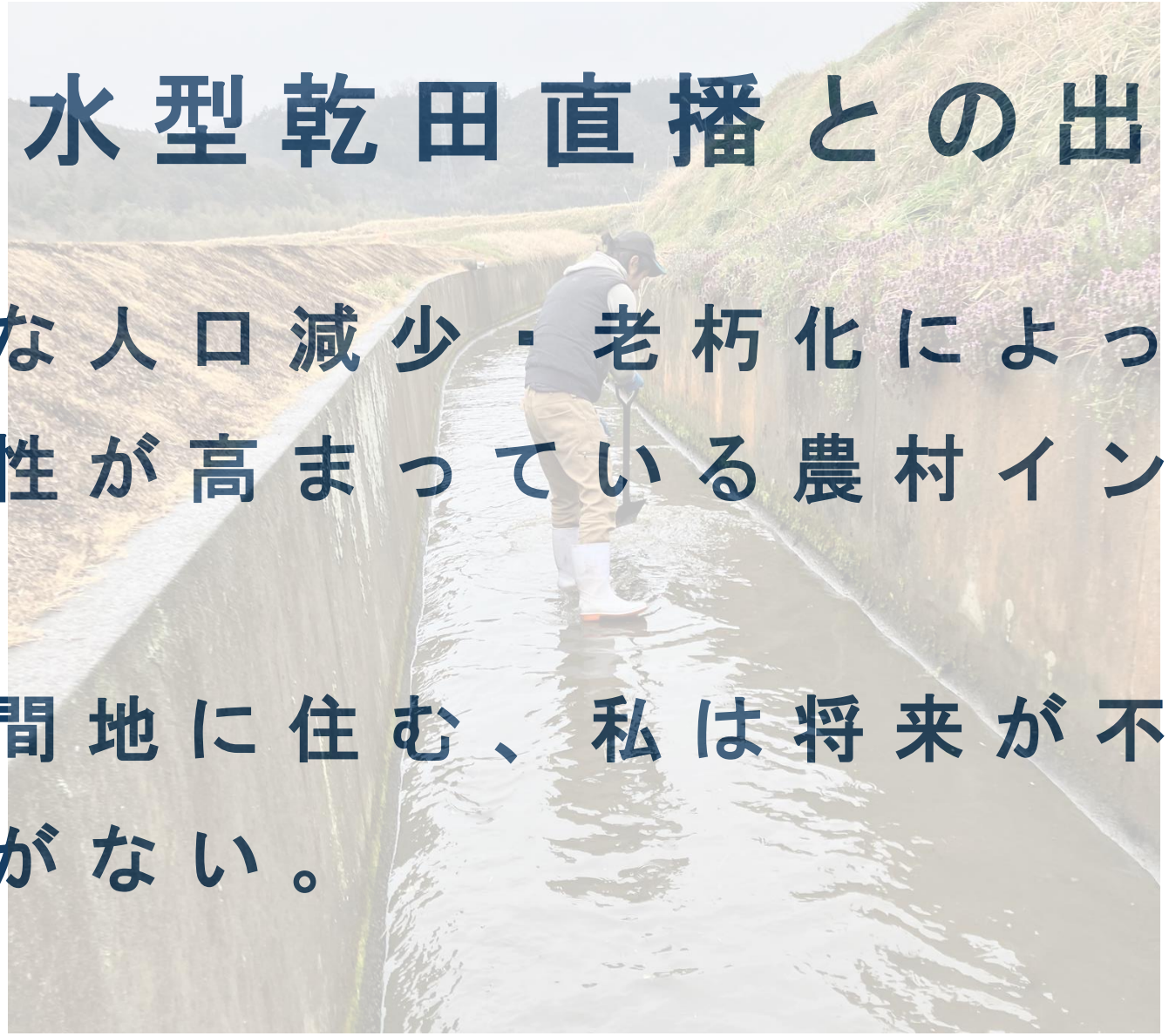
農地の状況



02

節水型乾田直播

YONEI FARM



節水型乾田直播との出会い

急激な人口減少・老朽化によって
脆弱性が高まっている農村インフラ

中山間地に住む、私は将来が不安で
仕方がない。

節水型乾田直播

山の中まで水路が張り巡らされ、非常に複雑な中山間地の水路。

急激な人口減少で維持管理は容易ではない。

節水型乾田直播

R５

試験的に挑戦

Ｗｃｓとして収穫

灌漑設備に依存しない
稲作に希望を感じた。

節水型乾田直播

R６

様々なパターンで

チャレンジ

結果→

実をとる場合

水が必要

節水型乾田直播

耕起・整地

播種・鎮圧

収穫

堆肥・土改材

必要に応じて給水（走水）

基肥・一発肥料

1回目 BS散布

2回目 BS散布

3回目 BS散布

1回目 除草

2回目 除草

3回目 除草

カメムシ防除

刈跡除草

播種作業

ドリルシーダー

播種　4~6kg/10a

鎮圧

ブームスプレイヤー

除草剤散布

（非選択性＋土壌処理）

苗立ちの様子

苗立ちと同時に雑草が発生し始める。

タイミングよく除草剤を散布。

BS資材を活用

根の様子

← 節水栽培

毛細根が多い

慣行栽培 →

直根が多い

収穫量

２００ｋｇ~５５０ｋｇ

/１０ａ

出穂時期の水分量

の影響は大きい

が節水でも十分

２０２５年の状況

きぬむすめ

4/30

播種

２０２５年の状況

きぬむすめ

5/13

6/2

6/22

7/15

除草剤

散布

２０２５年の状況

きぬむすめ

6/14

２０２５年の状況

きぬむすめ

8/22

出穂

２０２５年の状況

きぬむすめ

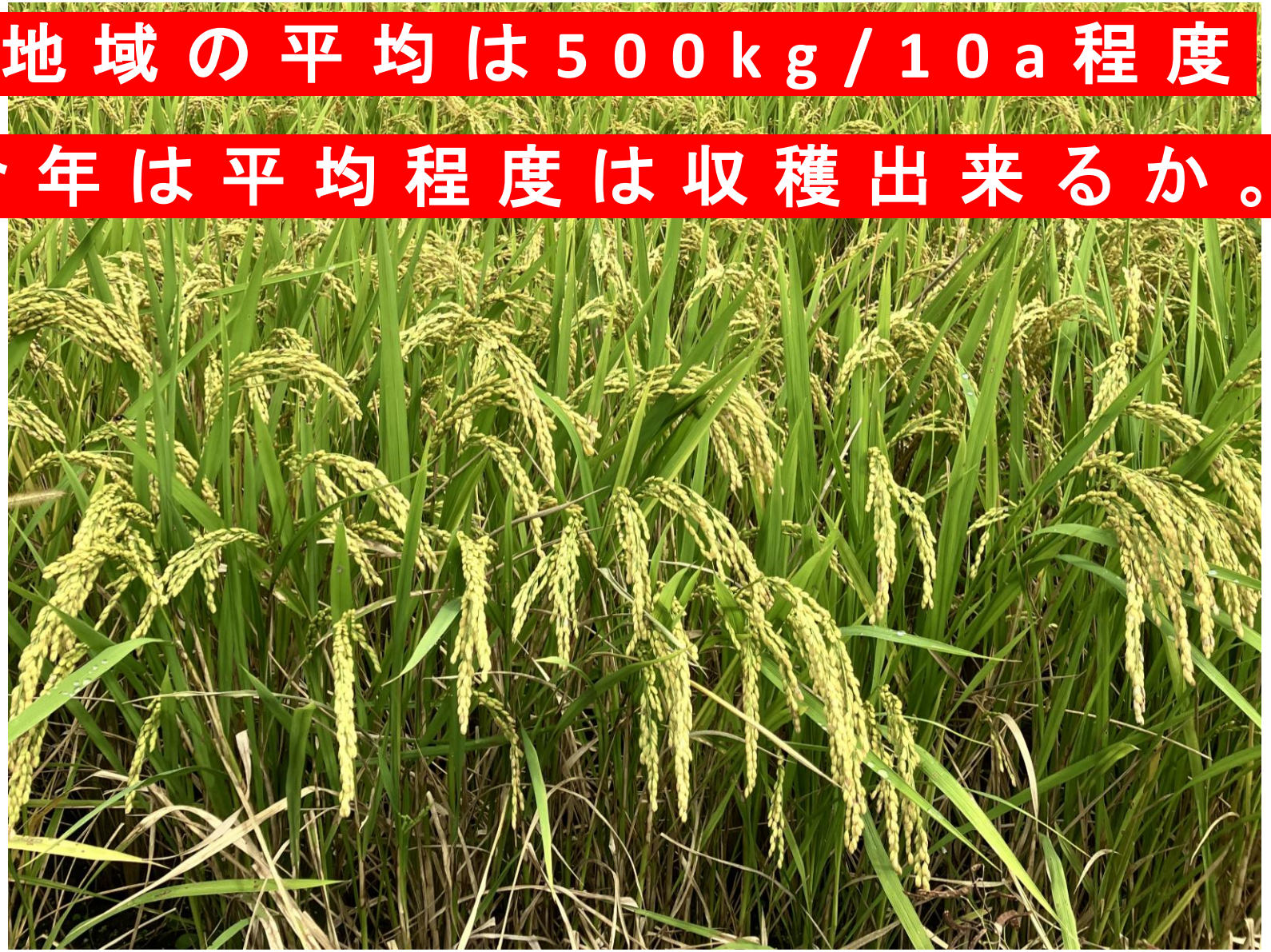
9/17

黄熟期

２０２５年の状況

地域の平均は５００kg/１０a程度

今年は平均程度は収穫出来るか。



きぬむすめ

9/17

黄熟期

節水栽培のメリット

メリット

作業時期の分散　3月～4月に播種

省力化　10aあたりコスト30～50%減

収量を含めたkgあたりのコスト

200～300円/kg※1→140円/kg程度を実現

畑地土壌を維持し畑作とのローテーションの相性◎

※1 中国四国農政局作成令和3年産米生産費資料より　https://www.maff.go.jp/chushi/info/toukei/00chushi/attach/pdf/r03kome.pdf

節水栽培のデメリット

デメリット

新たな設備投資が必要

ケンブリッジローラー

ブームスプレイヤー

ドリルシーダー…

麦作をしていれば共用できる

節水栽培の課題

雑草対策が問題！

AIを活用した除草管理プログラムで解決？

節水栽培の課題

連作障害の可能性

雑草稲の発生

節水栽培の課題

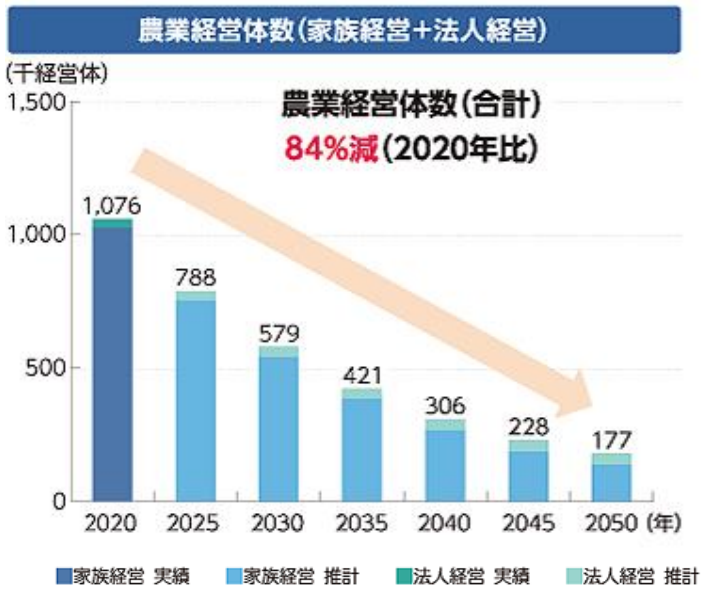
小規模かつ
不整形の圃場

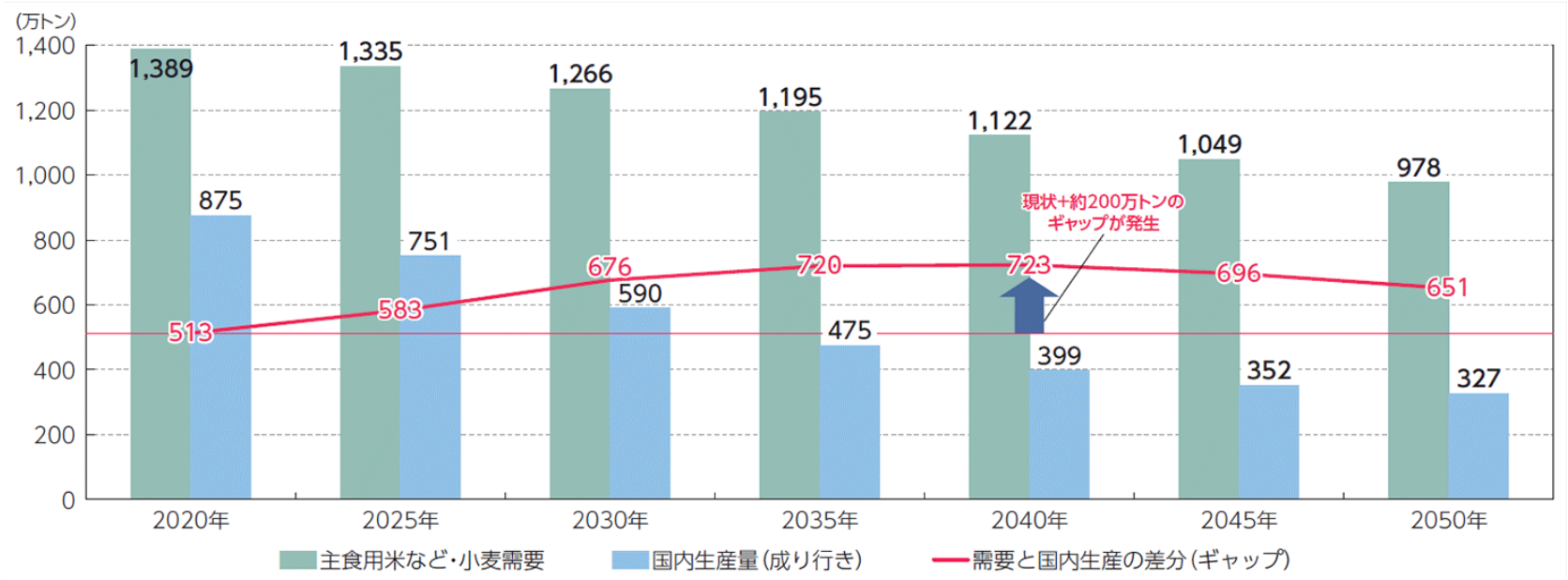
大きな機械は入らない
どう維持して
いけば良いのか。

節水栽培の意義

今後農業者の急速な減少

<u>食料自給力の維持</u>が課題！





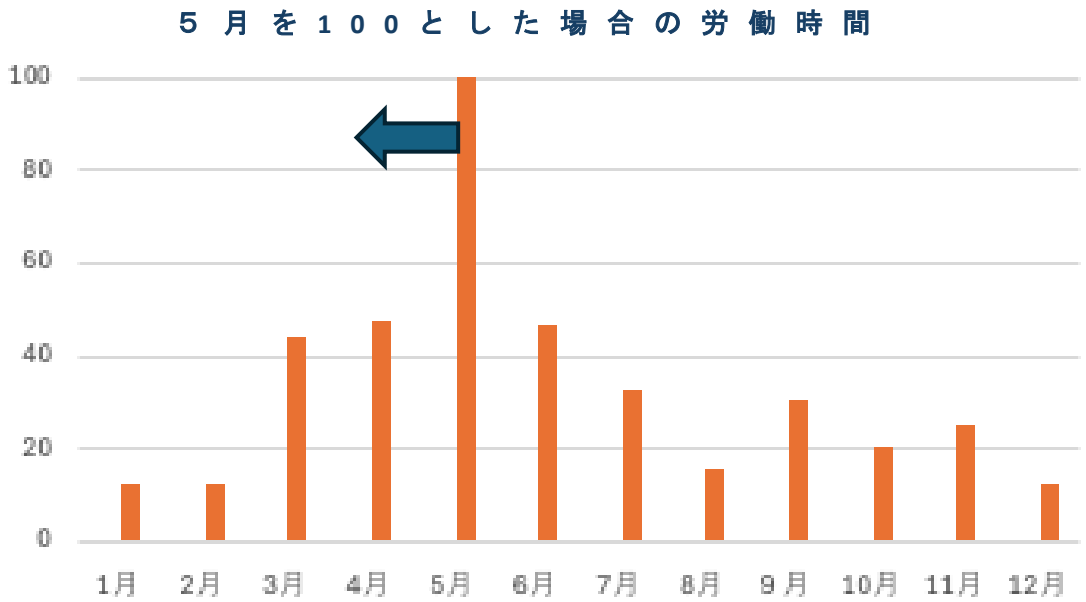
①2010~2020は農業センサスより引用、2050年は 三菱総研マンスリーレビュー2022年12月「2050年の国内農業生産を半減させないために https://www.mri.co.jp/knowledge/mreview/2022122.html閲覧日2024年1月8日より引用し NEWGREENにて作図 ②三菱総研マンスリーレビュー2023年11月「国内農業生産・農地維持の課題とビジネスの可能性」 https://www.mri.co.jp/knowledge/mreview/2023113.html 閲覧日2025年8月24日より引用

節水栽培の意義

ピークカットによる経営面積の拡大

→水が来ない３月～４月に播種作業を分散

経営規模の拡大に寄与



節水栽培の意義

中山間地において酪農畜産の活用は不可欠

- 畜産酪農は食料安全保障のバッファ
- 地域の環境保全にも貢献
- 米と飼料の両立で日本農業全体の底力を高める
- 節水栽培で効率的な飼料生産を！

節水栽培の意義

移植水稲（５月～１０月）

↓

節水栽培（４月～１０月）

↓

飼料作物（１１月～翌４月）

２年３作のローテーションで主食用米の

生産量を**維持**しつつ、飼料生産量を**確保**！

03

今後の取組

YONEI FARM

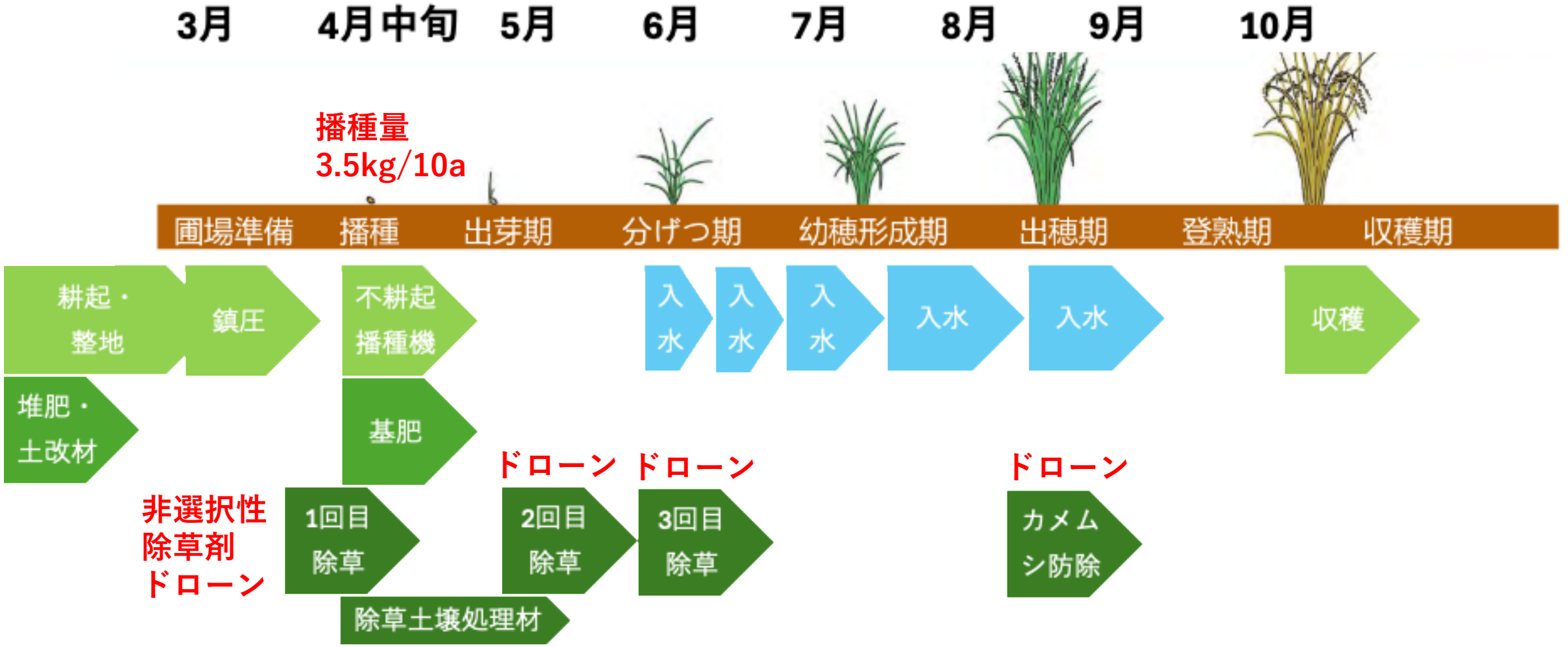
機械作業体系の検討

中山間地において乾田直播作業体系は
機械の段取り替えが多く、大変

また山間部は天候が不安定で、作業が計画通りに進みにくい。

複合作業による作業体系が理想的

作業体系の検討


3月
4月中旬
5月
6月
7月
8月
9月
10月
播種量
3.5kg/10a
圃場準備
播種
出芽期
分げつ期
幼穂形成期
出穂期
登熟期
収穫期
耕起・
整地
鎮圧
不耕起
播種機
入
水
入
水
入
水
入水
入水
収穫
堆肥・
土改材
基肥
ドローン
ドローン
ドローン
非選択性
除草剤
ドローン
1回目
除草
2回目
除草
3回目
除草
カメム
シ防除
除草土壌処理材

作業体系の検討

不耕起播種機

個土に刺さる。

作業体系の検討

４月～６月で種を少しでも多く播く

→　営農面積の拡大

利益の最大化

限られた育苗設備で最大の

営農面積を実現できるか。

04

最後に

YONEI FARM

最後に

節水型の稲作は**あくまで選択肢の一つ**

中山間地で20~30ha程度までは移植で十分だが、さらなる面積拡大には、選択肢となる。

移植＋直播でさらなる**経営規模の拡大**を！

最後に

中山間地の農地は国内の耕作面積の**約４割**。
そのため日本の食を守っていくためには、
ここを抜いて議論することは出来ません。

大区画化は必要不可欠ですが、
同時に小区画の圃場をどう維持するのか。

最後に

日本のコメを未来に繋ぐためにも、

今挑戦が必要です！

THANK YOU!

ありがとうございました